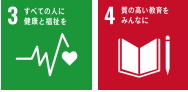


要請番号 (JL46925B17)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
モロッコ	I102 障害児・者支援	20～45歳のみ	個別	交替 2代目	2年	・2026/1・2026/2・ 2027/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

国民教育・就学前教育・スポーツ省

2) 配属機関名（日本語）

シディスリメン県教育局

3) 任地（シディスリメン県シディスリメン市） JICA事務所の所在地（ラバト県ラバト市）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（鉄道 で 約 1.5 時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

配属機関は県内の就学前、初等および中等教育機関(県内の小学校68校、中学校19校、高等学校9校)の運営全般に関する監督機関として、学校運営指導、教育カリキュラムの策定、教育統計の作成、教職員の人事管理や研修等を行っており、約50名の職員が在籍している。県局管内の小学校の障害児教室数は4教室(うちシディスリメン市内に2教室)あり、障害の程度が軽度～中度の主に知的障害と肢体不自由の児童を対象としている。本要請の前任者にあたる初代隊員が2024年8月より活動中。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

国民教育省は、「教育の機会均等」を優先課題の1つとして掲げており、障害のある人々の教育に関して、ユニセフの協力を得て2019年に「インクルーシブ教育国家プログラム」をスタートさせるなど、。シディスリメン県内においては、ごく軽度の児童を通常学級で受け入れることはあるが、現状においては障害児教室で授業を行っている。現在活動中の前任者は、教員や障害児教室の運営を委託されている民間の組織の職員と協力しながら、教育の質の改善に関する活動を行っている。前任者同様、日本の特別支援学級支援を紹介しながら、またモロッコにおける障害児教育、またインクルーシブ教育の状況に応じた活動の提案と導入ができる隊員が要請された。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

市内の公立小学校に設置された障害児教室、障害のある児童が在籍する普通教室にて以下の活動が期待されている。

1. 児童の発達段階や障害の程度に応じた授業を実施する(算数・図工・音楽・体育等)。
2. 障害児教室の教員に対する助言や指導を行う。
3. 通常学級の教員に対する障害児の受入に関する助言と指導を行う。
4. 管轄内の障害児教室、施設の関係者や保護者に対する講習会等の実施を支援する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

机、椅子、黒板、知育玩具

4) 配属先同僚及び活動対象者

【配属先同僚】 教務課の課長(男性・50代)および障害児教育担当(女性・40代)
【活動先同僚/活動対象者】 障害児教室の教員、関係する民間組織の関係者(女性20～30代)
【活動対象者】 軽度～中度の知的障害、肢体不自由等の児童
(小学1年～6年、6歳～13歳ぐらい)

5) 活動使用言語

フランス語

6) 生活使用言語

アラビア語

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許/資格等]：（特別支援学校教諭）

[学歴]：（大卒）教育学 備考：配属先の要望

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（実務経験）3年以上 備考：教員等への助言を行うため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（地中海性気候） 気温：（5～40℃位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水源]：（安定）

【特記事項】

- ・当国の障害児教育の歴史は浅く、考え方など日本とは異なることもあり、状況を理解しながら柔軟な活動が求められる。
- ・現地語(モロッコ方言アラビア語)については、現地訓練期間に語学研修を行う。

【類似職種】